

あけまして おめでとう ございます

神奈川県合唱連盟副理事長 志澤 彰



本年も神奈川県合唱連盟をよろしくお願い申し上げます。

県連では1978年から「ジュニア合唱祭」を開催しています。全国でジュニア合唱団だけの合唱祭は長い間、県連独自の催しでした。しかし、ジュニア合唱祭は参加団体が少しずつ減

ってきました。それ以上に問題なのは、各団の人数が減って来た事です。もっと多くの子どもたちに「合唱の楽しさを知ってもらい、豊かな人生を送ってほしい」と思いました。ジュニアの合唱団にかかわっている指導者が同じ思いを持ち、小・中学校へ合唱の指導に向く「合唱プロジェクト」が2000年から始まりました。また、平均年齢60歳以上の合唱団の合唱祭「ヴィサン」も県連が最初に(1995年)始めた合唱祭です。こちらも一時より参加団体が減少気味です。県連加盟団体は2008年の373団体をピークに減少傾向にあり、今年度までに50数団体も減少していますし、各団体の人数も減ってきている団が多いようです。

県連ではこの問題にまっすぐに(真摯に)取り組み、小・中学校会員の新生、各イベントの実施内容の充実、大学生や中高生の次世代を担う合唱の活性化、など、皆様と日々、努力を深めています。先般の県立音楽堂での還暦コンサートでも、幼稚園児から構成されたジュニア世代、中高生合同、そして一般の公募合唱団、と、まさに世代を超えて、

手をつなぎ合わせた合唱の輪がありました。県連の目指してきた方向、目指すべき方向が表れていたような気がします。

先日、ある団員から「来年、80歳になったらパッと合唱活動を止めます」と言われました。若い時からずっと歌い続けられ、とても熱心でいらっしゃるし、お元気なのに、年齢で止めると決めなくても・・・、と思いました。

皆さんはいくつまで歌おう、あるいはいくつまで歌えるとお思いですか?合唱をされている皆さんは「年齢より若く見える」と言われる人が多いのではないのでしょうか。特にステージの立ち姿を。それはとても大切な事だと思います。「若く見える」ように努力しましょう。それには、まず、「良い姿勢」そして「深く自然なブレス」を常に心がける事ではないでしょうか。良い姿勢を保つにはそれなりに体を鍛える事も必要ですが、一番大切なのは日々の心掛けだと思います。人それぞれ方法は色々あると思いますが、私は毎朝、自分なりに工夫をした体操を2～30分間、20年以上続けています。深く自然なブレスを続けていれば、肺の隅々まで空気を出し入れでき、健康に良いことは間違いありません。

いつまでも歌い続けられる健康な体を保てるよう日々努力しましょう。そして、健康なあなたを見習って仲間が増えるようになってほしいものです。「合唱するのがいいよ!楽しいし、仲間が増えるし、何よりも健康にも良いんだもの!」と言って、知り合いをお誘いしましょう。「合唱団に入っていて」「合唱団が県連に入っていて」良かったと思っていただけるよう、神奈川県合唱連盟では理事をはじめ各スタッフとも一生懸命頑張っております。これからも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

県立音楽堂開館

11月4日、神奈川県立音楽堂は60歳の誕生日を迎えました。1954年、公共の施設としては日本初の本格的な音楽専用ホールの誕生でした。その後、世界の一流演奏家はもちろんのこと、地元の多くのアマチュア音楽家たちにも愛され親しまれてまいりました。

その開館60周年を記念し、11月3日から「還暦！記念週間」としてさまざまなコンサートが催されました。



伊藤館長と司会の藤原副理事長

11月8日、神奈川県合唱連盟の主催により「合唱の殿堂 県立音楽堂」還暦記念演奏会～世代を超えて合唱をつ

なぐ音楽堂へと銘打ち、祝福と感謝を込めて演奏会を開催いたしました。

音楽堂から全国へ育っていった合唱団として、小田原少年少女合唱隊、マルベリー・クワイア、マルベリー・チェンバークワイアの皆様による、透明感のある歌声、熟練されたハーモニーの美しさ、合同合唱では躍動感あふれる楽しいステージが繰り広げられました。



小田原少年少女合唱隊、マルベリー・クワイア、マルベリー・チェンバークワイア 合同演奏



合同演奏Dubulaを踊る桑原先生



ジュニア合同演奏

合唱の未来を担う若い世代の演奏として、ジュニア合同合唱(133名)による爽やかな歌声で「そよ風はともだち」を、また「ネコのおくりもの」では、かわいい振付とともに、歌うことの楽しさを体いっぱい表現し、大切なもののお誕生日を優しい気持ちで込めてお祝いすることができました。音楽堂への最高のプレゼントになりました。音楽堂がにっこり微笑んで、「ありがとう!!」って言っているような気がしました。

中高合同女声合唱(117名)では、清らかな響きに乘せ、その豊かな歌声からは生きることへの情熱とエネルギーが伝わってきました。中高合同混声合唱(184名)では、のびやかな歌声とともに、自由へのあこがれや若者たちの熱いメッセージが届けられました。



中高女声合同演奏



中高混声合同演奏

60周年記念演奏会



歴代顧問によるトーク

音楽堂ゆかりの
5人の顧問の先生方
のトークコーナーで
は、松村努理事長

の軽妙なMCで、歴史をともに振り返り、先生方と音楽堂との懐かしい思い出話に花が咲き、未来の音楽堂への期待をユーモアを交えてお話しいただきました。

還暦のお祝いの気持ちを込めて、赤い楽譜カバーを手にした還暦祝祭合唱団(155名)のステージでは、「ハレルヤコーラス」「合唱連盟連盟歌～朝の光に～」 「大地讃頌」「歌の殿堂」の4曲を高らかに歌い上げました。メンバーの中には、60年前の開館記念の日に、このステージで同じ「歌の殿堂」を歌われた方もいらっしゃいま

した。いつも温かく、時には厳しく私たちの演奏を見守ってくれる音楽堂。音楽堂の軌跡をたどり、音楽堂と対話をしながら、まさにジュニアからシニアまで世代を超えた合唱三昧の贅沢な演奏会とな



音楽堂還暦祝祭合唱団



還暦祝祭合唱団リハーサル風景

りました。木の温もりに包まれながら、合唱を愛するたくさんの皆さまと感動と幸せにあふれた時を過ごすことができました。感謝の気持ちを込め、音楽堂の今後の益々のご発展をお祈りいたします。

事務局次長 草道 祥子

インタビュー



60年前、音楽堂開館記念式典の記念演奏会に参加され、本日『合唱の殿堂 県立音楽堂』還暦記念演奏会に参加されました横浜国大学グリークラブOB合唱団の3人の方々(杉山さん、加藤さん、高橋さん)にお話をうかがいました。

当時入学したばかりの18,19歳の11月に音楽堂開館記念式典が開催され、その記念演奏会にフェリス女学院の女声と一緒に参加されたそうです。演奏曲の一つ、歌劇「タンホイザー」から歌の殿堂はその時に演奏され、今日も同じ日本語の歌詞で演奏されました。ステージリハを終えて、「楽しいけど、いっぱい歌って目がまわっているよ」とおしゃっていました。

彼らが学生のころ合唱はとても盛んだったそうですが、演奏できるホールがなく、音楽堂が開館したときはホールの響きの素晴らしさに感動し、とても嬉しかったとのこと。以降、大学の定演や他大学との交流などは音楽堂がその大事な場所となったようです。そのころのことを話されると次から次とつきることがないようでした。当時の若者が現在まで合唱を続けてきて、今日この演奏会に後輩の方々と一緒に歌っているその立ち姿を見ると「こうやって合唱は繋がっていくのですね」と、たいへん力強く感じました。

編集委員 松浦 ゆりや



開館時にも歌っていたみなさん

第20回ヴィサン《人生百歳》 ジョイント・コーラスフェスティバルinよこはま

～20年の節目から、新たなる合唱の祭典へ～

過去19冊のプログラムを改めて読み返してみました。『青春は年齢でなく情熱である』、『青春時代に戦争を体験し、楽しむことの少なかった年代の方々にとって、今が正に青春期と言えるのではないのでしょうか』…歴代の理事長の挨拶文に書かれていた言葉です。どれも情熱や想いが詰まった素敵なメッセージで、ヴィサンを開催する意味が新たに感じた気がしました。

第1回開催の1995年から20年、2014年11月13日(木)第20回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが開催されました。第1～3回まで会場は神奈川県立音楽堂でしたが、参加団体・人数の増加に伴い、1998年5月にオープンした2020人収容の『横浜みなとみらいホール大ホール』に第4回より会場を移し、それから毎年みなとみらいホールで開催されるようになりました。今年の参加団体は43団体、参加人数も1000名を優に超え、6月の合唱祭と並ぶ大規模なフェスティバルとなりました。



講師の吉田先生、足達先生 選考をお願いしました。

オープニングにて、吉田先生がヴィサンのテーマソングとしてご自身が作曲された『歌があるから(1997年)』の全体合唱の指揮を、ピアノは渕上千里先生、「まほろば煌(きらら)」の皆さんがステージ上で歌って下さいました。そして20回のお祝いに日野原重明先生(聖路加国際大学名誉理事長)が駆けつけて下さり、ステージへは軽やかに歩いての登場! 素敵なお話と、直筆のメッセージの入った色紙をプレゼントして下さいました。日野原先生の《人生百歳》のお言葉と、花束をお渡しした福田美知子副理事長へのハグは、とてもチャームで印象的でした。



日野原 重明先生

どの団も20回の記念にふさわしく、様々な衣装、振付け、演出などを織り交ぜ、素晴らしい演奏を披露して下さいました。今回、ヴィサンに多年にわたり参加して下さいている団体に感謝の意を込め、ヴィサン：ルパン賞(仏 日野原先生 色紙：松、参加全20回)、バンブー賞(仏：竹、参加15回)、プリュニエ賞(仏：梅、参加10回)を贈呈しました。初参加の団体には花束を(6団体)、90歳以上の参加者には記念品を贈らせて頂きました。90歳以上参加者、予定では17名でしたが、様々な事情により当日は11名、最高齢の方は94歳(大正9年)。全員参加とならずとても残念でしたが、ステージ上でご紹介・記念品を贈呈の際、そのあまりのお元気な姿に、会場から拍手と歓声がわきました。

今年から多くの合唱団が参加できるよう最低年齢50歳以上を廃止、それでさっそく参加して下さいました団が多数ありました(三善晃先生の難曲や、松田聖子さんの『青い珊瑚礁』を振付きで披露して下さいました!) これからはシルバーだけでなく『すべての世代が集うフェスティバル』を目標に、ヴィサンをもっともっと盛り上げて参

りたいと思います。

皆さん、是非来年2015年11月5日(木)、みなとみらいホール大ホールに集まりましょう!

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄

エフォル賞 (出演順)

A ブロック

- ◆(財) ライフ・プランニング・センター
「新老人の会」 コールパンダナ & コールアミカ
- ◆合唱団ローズ ◆瀬谷混声合唱団 ◆旭混声合唱団

B ブロック

- ◆男のコーラス・ドッグウッド
- ◆シーサイド・グレイスフル・シンガーズ
- ◆こーる・ぱった ◆せやあじさいコーラス

C ブロック

- ◆名前のない合唱団 & ザ・リタイアリーズ
- ◆オラリオン混声合唱団 ◆混声♪青葉

ヴィサン賞 (出演順)

ルパン賞(参加全20回)

- ◆合唱団ローズ ◆ブルースカイ ◆男のコーラス・ドッグウッド

バンブー賞(参加15回)

- ◆コール・コサージュ

プリュニエ賞(参加10回)

- ◆杉山神社幼稚園コールなおび

初出場団体 インタビュー!

☆じゃおグリークラブ 代表さん

「オヤジ」をひっくり返して「じゃお」です。ここで(みなとみらいホール)演奏するのが夢でした。発足2年半で、楽譜も読めなかったオヤジたちが今日はホールの響きの良さに驚き、ほぼ自己満足状態です。絶対来年もここで演奏します! 団員も募集中です。

☆名前のない合唱団&ザ・リタイアリーズ 西田さん

女声合唱団が誕生ののちに、私たち夫たちがザ・リタイアリーズを結成し、混声合唱団として活動してきましたが、今後は女声合唱、男声合唱、混声合唱としてもそれぞれに活動したいと考えています。相模原には少ないけれど、ヴィサンに参加してみて、こんなにたくさんの男声合唱団があることを知りました。若いころに歌っていて、現役を退いてまた合唱を楽しんでいる仲間が多いですね。

※インタビューに答えてくださった西田さんの奥さまが、この合唱団の指揮者でした。編集委員 松浦 ゆりや



実行委員のみなさん

第69回関東 合唱コンクール

中学校部門は9月27日(土)、高等学校部門は9月28日(日)に茨城県立県民文化センターにて、大学職場一般部門は10月12日(日)前橋市民文化会館にて、第69回関東合唱コンクールが行われました。

大学職場一般部門の審査員の全体講評(鈴木 茂明先生)では『最近ではリズムやハーモニー、言葉などのスキルが高まっていてそれぞれの特徴ある演奏をしている。演奏は荷車、リヤカーのようなもの。両輪がよく動くために発声やハーモニーを磨くわけですが、荷台に何を乗せるかが演奏では大事。如何に作品の精神を豊かに乗せて運ぶかを目指してほしい』『合唱には情感が必要』『表情の出る発声を研究してほしい』『息をうまくつないでフレーズの表現を』等々のお話がありました。

神奈川県からの出場団体はそれぞれに磨きのかかった演奏を披露し、聴衆を魅了しました。各団体の審査結果は以下の通りです。



前橋市民文化会館



大学職場一般部門表彰式

第69回関東合唱コンクール結果

中学校・高等学校部門

【中学校部門 同声合唱の部】

清泉女学院中学校音楽部	金賞 支部長賞	代表
-------------	------------	----

【中学校部門 混声合唱の部】

横浜国立大学教育人間科学部附属 鎌倉中学校	金賞	
横浜市立緑が丘中学校合唱部	銅賞	

【高等学校部門 Aグループ】

清泉女学院高等学校音楽部	金賞	代表
日本女子大学附属高等学校 コーラスクラブ	金賞	代表
桐蔭学園混声合唱部	銀賞	
神奈川県立湘南高等学校合唱部	銅賞	

【高等学校部門 Bグループ】

桐光学園中学高等学校合唱部	銀賞	
神奈川県立多摩高等学校合唱部	銀賞	
北鎌倉女子学園コーラス部	銅賞	

大学職場一般部門

【大学ユース合唱の部】

鎌倉女子大学合唱団	銅賞	
-----------	----	--

【室内合唱の部】

La Pura Fuente	金賞 支部長賞 全日本理事長賞	代表
マルベリー・クワイア	金賞	代表
アンサンブル藤沢	金賞	
ユース松林	銅賞	

【同声合唱の部】

湘南はまゆう	金賞	代表
小田原少年少女合唱隊	金賞	

【混声合唱の部】

マルベリー・チェンパークワイア	金賞	代表
-----------------	----	----

第67回 全日本合唱コンクール全国大会

第67回全日本合唱コンクール全国大会は、10月25日（土）に高等学校部門、26日（日）に中学校部門が岩手県民会館にて、11月22日（土）23日（日）に大学職場一般部門が高松市のアルファあなぶきホールにて開催されました。神奈川県からは合わせて7団体が出場し、美しい歌声と豊かなハーモニーを響かせ、大きな拍手を浴びていました。各団体の審査結果は以下の通りです。

中学校部門（同声合唱の部）	清泉女学院中学音楽部…………… 金賞、盛岡市教育委員会賞
高等学校部門（Aグループ）	清泉女学院高校音楽部…………… 金賞
	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ…………… 銀賞
大学職場一般部門（室内合唱の部）	La Pura Fuente…………… 金賞、高松市長賞、カワイ奨励賞
	マルベリー・クワイア…………… 金賞、日本放送協会賞
（混声合唱の部）	マルベリー・チェンバークワイア…………… 銀賞
（同声合唱の部）	湘南はまゆう…………… 銅賞



アルファ
あなぶきホール



大学職場一般部門表彰式

清泉ファミリー3団体、全国大会へ

清泉女学院 佐藤 美紀子

10月24日、全国大会前日は文化祭初日。総勢100人での70分間のステージ後、慌ただしく盛岡へ出発。夕食後に3時間練習をし、緊張するゆとりもなく消灯した前日でした。今年度、高校生は日本語を美しく表現することを目標に、自由曲は智恵子抄より《亡き人に》を選曲。鈴木先生の緻密で壮大な音楽に心酔し、「自然描写、智恵子の狂気、そして生死を超えた至上の愛」を二群に分かれ表現できるよう練習を重ねました。4月の段階では蚊の鳴くような細い声だった中学生は、基礎トレーニングに真摯に励んだ結果、趣の異なる変化に富んだ3曲を表現する力を身につけることができたようです。曲の途中で30cmの段を音をさせずに降りることが、今大会での最大の課題。緊張の顔でした!!コンクール翌日には、小岩井農場や高村光太

郎記念館を訪れ盛岡の自然と文化を楽しみ、昼食は梔子そば大会。最多記録は中2のM子さん107杯、高2のSさん100杯、この食べっぷりには、他テーブルの一般客からも拍手と歓声が起きるほどでした。

全国大会の晴れの舞台で中学、高校そしてOGの三団体が、心一つに清泉サウンドを響かせることができましたことが最高の喜び。さらに合唱連盟の方々と神奈川県の皆様への応援をいただきまして、トリプル金賞、数々の特別賞の栄誉を賜うことができましたことを、心より御礼申し上げます。



* 朝日新聞社旗の朝日の向きが、関東と関西では違っているのをご存知ですか？
関東大会（群馬）と全国大会（香川）の表彰式の写真を比べてみてください。



全国大会初出場



La Pura Fuente 田所 亜沙美
コンクールへ挑戦し始めて、4年目。全国大会初出場の私達にとって夢にも思わなかった金賞、高松市長賞、そ

してカワイ奨励賞を頂き、一同「信じられない！」思いと、喜びでいっぱいです。演奏終了後、皆揃って口にしたのが「楽しかった」の一言。大好きな仲間と最高のホールで演奏する事ができた幸せを噛み締め、この感動があるからこそ、合唱を続けてゆけるのだと改めて感じました。

今後も素敵な経験ができるよう、そしてお客様に力を与えられるような清泉サウンドを目指して励んで参りたいと思います。

コンクール全国大会

日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 丸山 恵子
澄み渡った空気に清々しさを感じる盛岡に到着したのは、全国大会前日のお昼前でした。



紅葉の美しい街並とゆっくり散策したくなる城跡をバスの窓から眺めながら練習会場に急ぎました。
お蔭様で全国大会に三年連続出場

させていただく光栄に恵まれ、自分たちの音楽を信じ、しっかり伝えることに精進した日々でした。合唱祭から歌い続けてきた自由曲「絵師よ」は、昨年度から歌いたいと候補にあがっていた曲。難曲でしたが、丁寧に歌い込んでいくうちにスケールの大きさを感じ、気迫が増してきたように思います。

課題曲の「ゆうやけ」は、日本語の抑揚、詩の内容から伝わる少年の気持ちの移ろいを夕焼けのごとく、はかなく美しく表現できたと思います。

時期的に体調を崩す生徒が出て心配でしたが、精一杯の悔いのない演奏が出来ました。

サラソラ先生のメッセージを胸に

マルベリー・クワイア、マルベリー・チェンバークワイア 坪谷 麻貴
室内合唱の部9番目のマルベリー・クワイア（女声）は、室内の最少人数（17名）でした。自由曲1曲目は、アルゼンチンの作曲家アンドレオの、最大14声部に分かれる宗教曲、2曲目の「高い山で」はスペイン・バスク地方の複雑な歴史を背景に、苦難を乗り越え、人々が歌への喜びを見出すという作品です。5月、作曲のサラソラ先生を小田原に



お招きし、客演指揮をしていただきました。「希望に満ち溢れた輝く表現を！」とい

う先生のメッセージを胸に、全国のステージで熱い思いを込めて歌うことができました。



混声合唱の部トップバッターのマルベリー・チェンバークワイアも、混声の部最少の27名でした。こちらの自由曲もサラソラ作品で、委嘱作品として、5月に作曲者の指揮で世界初演しました。詩は「大地、水、火、空気、無」の五大要素が主題になっていて、日本語との掛詞なども使われています。高らかに歌い上げて始まるこの曲がメンバー皆大好きで、高松の空の下で気持ちよく歌うことができました。

コンクールは鍛錬の場

湘南はまゆう 青山 道代

今年で6回目の全国大会出場となりました。まわりを見れば若い人ばかり。びかびかの声とは異なる声質の私たちの存在は“合唱界の七不思議”に数えられているという噂もあります。

年齢を重ねてもいい演奏をしたい、自分たちにしかできないものを表現したいという思いは強く、今年も全国の舞台に立てたことは本当にしあわせです。

出る度にまた刺激を受け、課題をどっさり背負って帰ってくるのですが、このひとときを仲間たちと存分に楽しんできました。

好天に恵まれた高松は、光る瀬戸内海も色鮮やかな紅葉も美しく、美味しいおうどんを囲みながらの音楽談義、



旅を通して絆も深まります。指揮者松村先生が大学時代の同級生と感動の再会！というエピソードもありました。

コンクールは鍛錬の場であると同時に、また次へのエネルギーが湧いてくる源泉でもあります。来年もまた長崎に行けるよう、再スタート！終わりのない営みが続きます。

第49回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会

12月14日（日）神奈川県立音楽堂主催の「メサイア」演奏会が行われました。

音楽堂からの依頼で、県連は合唱参加者を募集しました。今回は指揮者小泉ひろし先生の強い意志で、「過去に小泉先生指揮のメサイアに出演したことがあり、練習にすべて参加できること」という条件で140名を募集しました。練習は松村理事長指導の3回と小泉先生指導の5回、オケ合わせ、そして本番を迎えました。途中、出席回数の少なかった5名の皆様には、当初の約束通り、残念ながらご出演を断念していただきました。体調不良等で辞退された方もあり、123名の方がステージに立ちました。別に、音楽堂「メサイア」未来プロジェクト（文化庁の劇場・音楽堂等活性化事業）として、県立海老名・湘南・大和西の3高校の生徒74名が参加しました。高校生は第2部33番の合唱から出演しました。終曲のアーメンコーラスまで9曲をすべて暗譜で歌いきりました。大人の合唱に高校生の潑刺とした明るい声が混ざり、ハイレベルな演奏となりました。次回第50回演奏会は、音楽堂では高校生の全曲出演を希望しており、高校生も全曲演奏に向けた練習計画を組んだようです。

副理事長・メサイア実行委員長 志澤 彰

指揮：小泉 ひろし ソプラノ：市原 愛 アルト：上杉 清仁 テノール：中嶋 克彦 バリトン：加未 徹
チェンバロ：長久 真美子 オルガン：宇内 千晴 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
合唱指導：松村 努 合唱：神奈川県合唱連盟
*メサイア未来プロジェクト参加：県立海老名・湘南・大和西高等学校



撮影：青柳 聡

リレーエッセイ No7 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。
今回は相澤 直人先生です。

熱情ソナタを耳コピーして 吐き気を催しながら弾いた中学1年生の話



演奏家であれ、作曲家であれ、指揮者であれ、「音楽家」を名乗る上で最も必要なものは「質の良い耳」であることに異論はないでしょう。僕ももっともっと「良い」耳が欲しいと思っています。瞬間的に鳴る音の音程、バランス、音色などを正確に判断し、合唱団員に的確な指導をしたいですし、音楽全体をより良いフォルムに上げたいといつも願っています。さらには耳の想像力と言いますか、実際に演奏する場での響きを考え、できる限り最良のパフォーマンスをしたいと思うのです。

ところで、音楽家の耳、となりますと、音大の受験ではほぼ必ず課せられる「聴音」を思い出しますよね。僕、自慢する

わけではないのですが、聴音のレッスンって受けたことがないのです。（ついでに、楽典やソルフェージュ全般も全て自分で勉強しました。）努力して習得したタイプの友人には「なんでできたの？」と言われることも多く、その時ばかりは、以前師事していたピアノの先生に感謝せずにはいられません。

6歳から15歳まで師事していた先生は、新しい曲に取り組むときに「楽譜を見てはいけない」指導をされるのです。その曲の演奏音源を数種類渡され、次のレッスンまでに（俗に言う「耳コピー」をして）練習してきなさい、と仰るのです。バッハのインヴェンションもそうでしたし、モーツァルトのソナタもそうでした。ベートーヴェンの「熱情ソナタ」なんてその作業に吐き気がするほどで、しばらくレッスンを休んでしまいました。ようやく楽譜を見る許可を頂いた時の、壮大なる答え合わせから得られた学び（この和音はこう聞こえたけど、第5音は省略された属七だったのか！等）は、何物にも替え難いことであつたと、今になって思います。

ほとんどの人はその先生の事を嫌いだったでしょうね。女の子にモテたいからピアノが上手になりたい！という「あり勝ちな」下心が「あり得ないくらい」大きかったから続けてこられた僕は、見透かされたのか女の子にはモテませんでした。今は作曲家、指揮者としてこの世界で生かされています。

次回は北鎌倉女子学園の小沢 美和先生にお願いしました。

カノンコンサートガイド

1/25 (日)	コール・リリカ 第8回定期演奏会 14:00～ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,000円 お問合せ:神谷 045-823-8636 伊藤 045-386-2366 指揮:福田 美知子 ピアノ:橋本 麻子 曲目「水のいのち」高田 三郎 「出発の歌」編曲/信長 貴富 他
2/11 (水・祝)	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第45回定期演奏会 13:30～ 日本女子大学西生田成瀬講堂 大ホール 入場料:無料 お問合せ:梶田 由紀子 044-952-6711 指揮:丸山 恵子 信長 貴富「ノスタルジア」松下 耕「どこかに」「静かな雨の夜に」鈴木 輝昭「絵師よ」
3/1 (日)	混声合唱団 風雅 第8回演奏会 14:00～ 海老名市文化会館 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:坪 俊宏 046-232-0731 オリンピックのように4年に1回演奏会を開いてきましたが、今回は前回の2年後の開催になります。
3/7 (土)	横浜メールクワイア 第9回定期コンサート 14:00～ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,000円 お問合せ:宮永 090-6140-2304 http://yokohama-male-choir.com/ 指揮:小林 正明 ピアノ:須江 太郎 組曲「柳河風俗詩」のほか関白宣言、最上川舟唄など10数曲を歌います。
3/22 (日)	相模原少年少女合唱団 第48回定期演奏会 13:30～ 杜のホールはしもと 入場料:無料 お問合せ:相模原市立青少年学習センター 042-751-0091 http://www007.upp.so-net.ne.jp/hibikeutagoe/ 小学生～高校生の団員が市内のいろいろなイベントを中心に活動しています。1年間の成果をお聞きください。
3/22 (日)	県立多摩高等学校合唱部 第49回定期演奏会 18:30～ 多摩市民館大ホール 入場料:無料 お問合せ:福王寺 044-911-7231 合唱曲やPOPS曲など様々な曲を歌います。楽しいステージでは劇も行います。是非お越しください。
3/29 (日)	ボカ・グランデ 第16回定期演奏会 14:00～ 鎌倉芸術館小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:朝比奈 0467-31-4122 吉原 0466-35-3010 指揮:名島 啓太 ピアノ:久野 圭子 ミサ、女声合唱組曲、ポピュラー等多彩なプログラムをお楽しみください。
4/4 (土)	鳳混声合唱団 第14回演奏会 14:00～ 横浜市鶴見区民文化センター サルピアホール 入場料 1,500円 お問合せ:久野 蕃男 Tel.045-571-3744 E-mail:sept-28-sk@ezweb.ne.jp 指揮:志澤 彰 ピアノ:八木下 章子 フォーレ「レクイエム」混声合唱編「心に花を咲かせよう」高田 三郎「水のいのち」
4/4 (土)	洋光台混声合唱団 第11回アンディ・ムジークコンサート 作曲者 鈴木 憲夫と一緒に 14:00～ 神奈川県立音楽堂 入場料:1,500円(全席自由) お問合せ:鈴木 章司 Tel/Fax 045-834-0224 鈴木 憲夫作品「みすゞこのみち」「マザー・テレサ 愛のことば」「二度とない人生だから」「ほほえみ」他 編曲集
4/11 (土)	鶴見女声合唱団 第14回定期演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 お問合せ:住田 菜穂子 Tel/Fax 045-575-5156 指揮:斉藤 四郎 ピアノ:松村 美奈子 ロッシーニ、心の四季、カンツォーネを予定しています。
4/12 (日)	横浜ルミナス・コール 第14回定期演奏会 14:30～ 神奈川県立青少年センター ホール 入場料:1,000円 お問合せ:下江 045-761-3744 http://www1.odn.ne.jp/luminous/ 指揮:小久保 大輔 ピアノ:名取 かほり 團 伊玖磨「岬の墓」他
4/19 (日)	ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア カトリック須賀川教会再建支援 チャリティーコンサート 13:30～ カトリック田園調布教会 入場料:無料 お問合せ:川上 Tel/Fax 045-789-3688 指揮:川上 勝功 オルガン:浅尾 直子 メンデルスゾーン「3つのモテット Op.39 1～3」他

4/19 (日)	コーロ・みお 創立 55 周年演奏会 (第 13 回定期演奏会) 14:00 ~ 神奈川県立音楽堂 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 小笠原 Tel/Fax 045-252-0460 指揮: 榊原 哲 ピアノ: 齋藤 涼子 安藤 江浪 信長 貴富「月・星・地球」他
4/25 (土)	まどかコーラス 第 17 回演奏会 14:00 ~ 平塚中央公民館大ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 佐々木 Tel/Fax 0463-82-2857 指揮: 酒井 悦子 ピアノ: 久野 圭子 「ふるさと四季」「花冷えのあとで」、イタリア歌曲他をお送りします。

湘南フィルハーモニー合唱団第 24 回演奏会

Brahms Ein Deutsches Requiem

Mendelssohn Wie der Hirsch schreit

ブラームス 「ドイツレクイエム」 Op.45

メンデルスゾーン 詩篇 第 42 番「鹿が谷川の流れを慕うように」 Op.42



指揮 松村 努

ソプラノ 菅英三子 バリトン 福島明也
 管弦楽 グロリア室内オーケストラ
 合唱 湘南フィルハーモニー合唱団



2015 年 4 月 11 日(土)16:30 開演
 すみだトリフォニーホール

■チケット S 席 ¥3,500 A 席 ¥3,000 B 席 ¥2,000 (2 月 1 日発売)

■チケット取り扱い **チケットぴあ** pia.jp/t 0570-02-9999

■お問い合わせ 鈴木 045-984-3371 ホームページ <http://sho-phil.com/>

■後援 神奈川県合唱連盟 / **JCD** 日本合唱指揮者協会



第58回神奈川県合唱祭は6月13日(土)14日(日)、27日(土)28日(日)に神奈川県立音楽堂にて開催されます。

今回から、ステージに並ぶ時間を利用して各合唱団ごとに「自分の合唱団の紹介」をして頂くことになりました。たった 30 秒ですが、思いきりアピールしてください。会場のお客さんもイメージを膨らませながら演奏を聴けるのではないのでしょうか。

また中高合唱講習会に続いて、小学校の合唱講習会も開催し成果発表を行います。小さな体からほとば

しるエネルギーは合唱の未来を明るくしてくれることでしょう。

わく²メッセージ、ジャンケン大会、ほっとタイム、センセイズ、ファッションショー、ジュニア合同合唱も、従来通り行いますのでご参加をお待ちしております。

すでに各団体のお手元に参加要項が届いていると思います。今年は参加申込書に指揮者の方の「サイン」を頂くことに致しました。プログラムに載せる際に間違いを防ぐため、内容を確認された上でサインをお願い致します。

リニューアルした合唱祭を皆さまの歌声で大いに盛り上げましょう。

たくさんのご参加、お待ちしております。

合唱祭実行委員長 吉田 千鶴子

—— 県連からのお知らせ —— <東日本大震災に伴う義援金募集について>

神奈川県合唱連盟は東日本大震災の被災地及び被災された方々への支援の一環として、県連各行事における募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果多数の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

いただきました義援金につきましては、昨年度より全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託することになり、9/12に第9回目の寄託(29,547円)、12/11に第10回目の寄託(39,670円)を行いました。(平成23年から累計額2,481,527円)今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～ 12/11 現在(前回の報告以降)

ユース松林様、県立音楽堂還暦記念演奏会募金箱、第20回ヴィサンジョイント・コーラスフェスティバル募金箱

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

編集後記：

新しい年がめぐってきました。合唱は心の潤い、心の栄養。今年もまた素敵な曲や新しい仲間に出会い、さまざまなステージを楽しめますように。
(編集長 青山 道代)

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel/Fax/e-mail/HPの記載可)
⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。下記申込書に記入後、メール、FAXで事務局までお申し込み下さい。

2 有料掲載：1/8号2,500円、1/4号5,000円、1/2号10,000円、1号20,000円での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(〆切：2月28日) 夏号 7月10日発行予定(〆切：5月31日)
秋号 10月10日発行予定(〆切：8月31日) 冬号 1月10日発行予定(〆切：11月30日)

コンサートガイド無料掲載申込書

① 合唱団名															
② 演奏会名称															
③ 開催日時															
④ 会場															
⑤ 入場料等															
⑥ 問い合わせ連絡先															
⑦ コメント (条件：全角50字以内、句読点は1文字換算、数字アルファベットは基本半角)															

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 松村 努 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

